

令和2年7月 17日
Vol.2

中津高職員が届ける

卒業生からのメッセージ

今回は森井校長先生がお届けする JR 東海で新幹線の運転士・車掌としてご活躍の第55回生西尾正樹さんからのメッセージです。

◇私の仕事

私は中津高校卒業後、就職の道を選び、JR 東海で新幹線の運転士・車掌をしています。名古屋を拠点として東京～新大阪（東海道新幹線）を乗務しています。

2004 年に入社後、東京駅に配属され、2008 年に名古屋へ転勤し新幹線車掌、2012 年に新幹線運転士となり、現在に至ります。



◇やりがい

運転士・車掌という職業に、今までに一度はあこがれた人もいますよね。それだけ注目される仕事ですから常に緊張感をもっています。

そして新幹線は 15 秒単位で時刻が決まっています（駅の通過も含めて）。自分のミスで列車を遅らせると、他の列車にも影響が出ます。そのような強い責任感に、一つ一つの勤務が無事に終わった時はとてもホッとします。

新幹線の車掌は、車内での接客機会が多いので、お客様に迷惑をかけないためにどうすべきか、不慣れな方やお困りの方をスムーズにサポートするにはどうすべきか考えています。とても喜んでいただけると、役に立つことができ嬉しですし、やりがいを感じます。



幼少期の西尾さん

◇私の高校時代

校長の森井先生は、3年間英語の教師として、2・3年生の時は担任としてもお世話になりました。

得意科目は英語、苦手だったのは数学、国語でした。2・3年生では生徒会役員を経験、旭陵祭の運営に携わりました。

卓球部に所属していましたが、中学時代からやっている人にはかなわず、わずか1勝。

3年間皆勤できたと思いきや、1早退していた（歯医者予約時間が近づいたため帰りのSHR中に下校）のが悔しかったです・・・

当時のケータイは2つ折りがメインで、アンテナがついており、着メロしかない時代でした。よくワン切りでいたずらする人がいました。授業中に鳴って先生に怒られる人も。女子はルーズソックスがほとんどでした。

◇なぜ就職を決めたか

私も子供の頃から電車は大好きでした。母の実家が福島県だったので、帰省はいつも中央線から新幹線へ乗り換える長旅でした。しかし毎回電車に乗れるのにワクワクで、移動が辛いとは思いませんでした。その中で、自然と今度は電車の運行を支える側の仕事をしたいな、と思うようになりました。

中津高校に入学して、大学への進学を考えていましたが、学びたい分野が見つかりませんでした。そんな中で、実は学校にJR東海から求人が来ており、ほぼ毎年、1人が入社していると知りました。だったら夢をかなえるために、チャンスを逃さず就職した方がいいかな、と決めたのが3年生になる頃です。

森井先生や進路指導の先生方、家族もみんな私の意思を尊重してくださり、おかげで順調に仕事ができている今の私があると思います。本当にありがとうございました。



3年間英語を教わり、2,3年生では担任の先生としてお世話になった森井校長との一枚。

◇今がんばっていること

仕事を極めることです。

運転士、車掌ともに、いつも全く同じように仕事はできません。シフトが違えば電車の時間も違うし、曜日や列車の違い（のぞみ号・こだま号など）でお客様の利用目的が変わってきます。旅行などで他の鉄道に乗ると、自分の仕事に生かせるヒントがないか探しています。

仕事の満足＝後退の始まりです。より多くのお客様に喜ばれる対応ができるよう、常に新たな知識や技能を吸収し続けたいです。

◇後輩へのアドバイス

・色々調べてみる

世の中には知らない事がいくらでもあります。授業でも教わらない事がたくさんあります。日常生活で気づいた「？」を掘り下げると、奥が深くて面白いし、視野が広がりますよ！私たちの頃にはなかった「スマホ」を活用してみてはいかがでしょうか？私が高校時代にこうやっていたら、違う進路を選んでいたかもしれません。

・守ることは守る

当たり前かもしれませんが、法律をはじめとした決まりごとは守りましょう。

社会人になってから、会社の規則違反や違法行為で、会社を去った人を何人か見てきました。苦勞してここまで来たのに台無しですし、再就職したくても過去を調べられて断られた話も聞きます。罪は一生背負って生きていかなければなりません。どうか「自律心」を忘れないでください。

・どうせやるなら楽しく！

社会人になってから私が心掛けていることです。高校の勉強は予習復習、いっぱいあって大変でした。真面目に勉強していましたが、「どうやったら楽しく勉強できるか？」を考えなかったのが、成績が伸びなかったのかなと思います。人生は1回しかないのだから、当然楽しい方がいいですよ？勉強も部活も遊びも、考え方を変えて楽しくやってくださいね！

◇最後に・・・

私の仕事は一人ではできません。新幹線が走るために線路や信号、車両などを整備する人、そしてお客様が利用して下さるので仕事ができます。多くの人々に支えられて今まで生きて来られたことに感謝しかありません。

限られたスペースなので語り尽くせませんが、いかがでしたでしょうか？これが皆様の参考になり、少しでも良い方向に人生が進むきっかけになることを祈ります！

